

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道9号 出雲バイパス (神立～中野東)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県出雲市斐川町併川 至：島根県出雲市中野町	延長	1.8km		
事業概要	<p>一般国道9号は、京都市から山口県下関市に至る延長約751kmの主要幹線道路である。</p> <p>一般国道9号出雲バイパス(神立～中野東)は、出雲バイパスのうち、神立交差点～中野東交差点を4車線化する延長約1.8kmの事業である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>一般国道9号出雲バイパス(神立～中野東)は、出雲市中心部の交通混雑の緩和、地域経済を支える製造業の活性化の支援、高度救命救急センターへの救急医療活動の円滑化等に寄与するものである。</p>				
全体事業費	約140億円	計画交通量	約25,500～26,000台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

【島根県知事】
「一般国道9号出雲バイパス(神立～中野東)」事業の予算化について同意いたします。

一般国道9号は、細長い島根県を東西方向に結ぶ唯一の国道であり、山陰道とともにダブルネットワークを構成する重要な幹線道路となっています。

このうち、出雲バイパスは出雲市街地の骨格道路ですが、そのほとんどが暫定2車線での供用であるため慢性的に交通渋滞が発生しており、とりわけ「からさで大橋」を含む神立交差点から姫原東交差点の区間は、特に、朝夕の渋滞が激しくなっております。

当該区間は、出雲大社や出雲縁結び空港などを結ぶ観光ルートとして、都市機能が集積する市街地へ通じる基盤ルートとして、3次医療機関への救急搬送ルートとして、さらには、近年頻発化している豪雨災害等により山陰道が通行止めとなった際の代替道路として、その役割を十分に果たすためにも、当該道路の4車線化が極めて重要です。

島根県としては、当該事業の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元出雲市と連携して、関係機関や地元との調整、事業効果を広く周知する広報活動を積極的に行うとともに、県道出雲平田線等の事業効果を高める周辺の道路整備を進めるなど、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めてまいります。

つきましては、「一般国道9号出雲バイパス(神立～中野東)」の早期整備をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

費用便益：便益が費用を上回っている。
手続き等：都市計画決定（S55.5）、一部都市計画変更（H13.4）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.3	総費用 113億円 (事業費：103億円 維持管理費：11億円)	総便益 145億円 (走行時間短縮便益：136億円 走行経費減少便益：4.3億円 交通事故減少便益：4.5億円)	基準年 令和3年		
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.2 (交通量 -10%)	B/C= 1.4 (交通量 +10%)			
		事業費変動	B/C= 1.2 (事業費 +10%)	B/C= 1.4 (事業費 -10%)			
	事業期間変動	B/C= 1.2 (事業期間 +20%)	B/C= 1.4 (事業期間 -20%)				
事業の影響	評価項目	評価	根拠				
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は斐伊川渡河部を通過しており、市街地に流入する数少ない経路であるため、周辺道路から交通が集中して交差点を先頭に渋滞が発生しており、交通の円滑化が必要。 当該区間の4車線整備により、朝ピークの容量超過による渋滞の解消が期待。 <p>【所要時間の短縮】 現況：約8分 → 整備後：約2分</p> <p>【平均旅行速度の向上】 現況：約14km/h → 整備後：60km/h</p>			
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間では死傷事故率が100件/億台キロ以上の交差点が存在。 当該区間の交通混雑が解消することで、交通混雑に起因する追突事故の減少が見込まれる。 			
		歩行空間	—	注目すべき影響はない			
	社会全体への影響	住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> 出雲バイパス沿線に立地する島根県立中央病院は、年間約4,000件もの救急搬送を受け入れているが、搬送時の速達性確保が課題。 当該区間の交通混雑が解消することにより、三次救急医療機関への搬送時間が短縮し、救急医療活動の円滑化に寄与 <p>【斐川消防署から島根県立中央病院への搬送時間】 現況：約22分 → 整備後：16分</p>			
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> 出雲市は電子部品等の製造品出荷額等が中国地方第2位であり、出雲バイパス周辺に製造業事業所が多数立地しているが、当該区間の混雑により物流への支障が発生。 当該区間の交通混雑の解消により旅行速度が向上。物流効率化により地域の経済活動を支援。 <p>【出雲バイパス東側の工業集積地から大田市内関連工場への所要時間】 現況：約69分 → 整備後：約59分</p>			
		災害	—	注目すべき影響はない			
環境		—	注目すべき影響はない				
地域社会		◎	当該区間の交通混雑の解消により、出雲大社へのアクセス性が向上。				
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定（S55.5）、一部都市計画変更（H13.4） 島根県知事等より早期事業化を要望 					

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該区間の整備により、交通の円滑化及び交通安全の確保、高次救急医療への速達性・確実性の向上、産業の活性化、観光振興の促進が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。